

集中豪雨・台風に備えて

避難所の確認や非常食の備蓄を

6～10月は集中豪雨や台風などで川が増水しやすい時期(出水期)です。昨年は市に大きな被害をもたらす災害はありませんでしたが、令和2年7月豪雨では、熊本県を中心に九州や中部地方などに大規模な被害をもたらしました。災害に対して「自分・家庭・地域でできること」を確認し、いつ発生するか分からない災害に備えず、少しでも被害を軽減して、自分や家族の安全を守るよう、日頃から心掛けましょう。問い合わせは市危機管理室 ☎74・8166へ。

大雨による災害とは

★集中豪雨

集中豪雨は、数時間にわたって強い雨が狭い範囲に集中して降る大雨のことです。非常に激しい雨が何時間も同じ場所に降り続けると、河川の氾濫や内水氾濫による浸水被害が予想されます。また集中豪雨は、積乱雲の発達が数十分単位で起こるため、予測することが困難です。

★台風

台風は、積乱雲が集まったもので、広い範囲に長時間にわたって激しい雨を降らせます。また、暖かい湿った空気が台風に向かって南の海上から流れ込むため、日本付近に前線が停滞しているとき、その湿った空気が前線の活動を活性化させ、大雨となることもあります。

土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報は、大雨による土砂災害発生の危険度が高まったとき、避難指示を発令する際の判断や住民の避難の参考となるよう、県と気象庁が共同で発表する情報です。

同情報が発表された場合は、斜面の状況に常に注意を払い、普段と状況が異なる場合には、



平成26年の大雨で冠水した阪急伊丹駅前

直ちに周りの人と安全な場所に避難してください。

自分・家庭でできる備え

★正確な情報収集

市の避難指示や避難所開設などの情報は、屋外拡声器、ホームページ、エフエム(たまみ79・4)、CATV「ベイ・コミュニケーションズ」(デジタル11チャンネル)などで提供します。その他、いたみ防災ネットでも市の災害情報を提供します。

★避難所の確認

災害種別ごとに一時的に避難する指定緊急避難場所と指定避難所があります。家族全員で避難所の場所とルートを確認し、緊急時の集合場所や緊急連絡方法を決めておきましょう。

避難所の場所はWeb版市防災マップ(ハザードマップ。下記二次元コードから読み取り可)でも確認できます。



★避難は徒歩で

災害時、自動車での移動は渋滞を発生させる原因となり緊急車両の妨げになったり、大雨時は水没して動けなくなったりする恐れがあるため、自動車での

避難はやめましょう。

★家庭での備え
災害発生時、公的な支援物資はすぐに届かない場合があります。家庭で非常食などの防災グッズを1つにまとめて備えることが重要です。3日～1週間分の備蓄を心掛けてください。

普段から缶詰やレトルトなどの食材や水の買い置きをし、トイレットペーパーや衛生用品なども備蓄しておきましょう。また、日常から少し多めに食材や加工品を買っておき、使ったら使った分だけ買い足していくことで、常に一定量の食料を家に備蓄しておく方法をローリングストックと言います。

ローリングストックで、備蓄した食材を活用していきます。★ペットは同行避難
特定の避難所ではペットと一緒に避難できます。日頃からペットの健康管理・しつけを行うとともに、ペット用の避難用品や備蓄品の確保もしっかりしておきましょう。

地域でできる備え

大規模災害時には、公的な支援活動が制約され、行政支援が行き届かないことも予想されます。

市は、災害時の初期避難において、地域住民の皆さんで助け合っただけで済ませず、自力で避難することが困難な高齢者や障がいのある人など(要支援者)のうち、同意を得た人の名簿を地域で共有し、日常の見守りや避難支援につなげる「避難行動要支援者支援制度」に取り組んでいます。

災害時に1人でも多くの方が

安全に避難できるように、互いに助け合う地域づくりを意識しましょう。

避難情報が見直しに!

内閣府は、警戒レベルごとに住民が取るべき避難行動を左表の通り示しています(5月中旬に運用開始予定)。

また、警戒レベルで2番目に高い「警戒レベル4」に当たる避難情報のうち「避難勧告」を廃止し「避難指示」に一本化しました。市が警戒レベル4の避難指示を出した時点で、危険な場所から住民全員が避難してください。

夜間で見通しが悪いなど、避難所への移動(水平避難)が危険でできない場合、自宅や近隣建物の高い階へ移動(垂直避難)するなど、安全確保に努めましょう。

被災した場合

台風などの災害により住家などに被害があった場合は、原則1カ月以内に申請などを行うことで、罹災証明書または罹災届出証明書の交付を受けることができます。同証明書は、各支援

いづ発生するかわからない災害に備え登録(二次元コード)から読み取り可)をお願(いし)ます。



AppStore GooglePlay

・救済措置などの手続きに必要な場合があります。
「罹災証明書」災害により被害を受けた住家や人的な被害の程度を市町村が証明するもの。条件あり。
「罹災届出証明書」被災者から罹災の届け出があったことを証明するもの。被災した対象の種類は問わない。

スマートフォンアプリ

市は、避難に関する情報などの緊急情報や地震、気象警報などの防災に関するさまざまな情報を提供するスマートフォンアプリ「いたみ防災ネットワーク」に登録を



GooglePlay

警戒レベル	住民などが取るべき行動	避難情報	発信元
5	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保	市
警戒レベル4までに避難を			
4	危険な場所から全員避難	避難指示	市
3	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難	
2	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報	気象庁
1	災害への心構えを高める	早期注意情報	

状況により、警戒レベル1～5の順で出るとは限りません。雨の状況により警戒レベルと避難情報が必ず同時に出るとは限りません。

水道週間記念行事 ポスター展を開催

6月1～7日は水道週間です。水について関心を持ってもらい、水道事業への理解と協力を得ることを目的に全国的な取り組みとして行われてい



伊丹市 34°46'31.3"N 135°26'41.1"E



これにちなみ市上下水道局は、次の通り「第63回水道週間記念行事」のポスター展を開催します。

▽日程 6月1～10日(1日(火)は午後1時から)▽会場 図書館「こぼ蔵」1階のギャラリー▽内容 昨年度市内の小学生を対象に「おいしい水」「安全で安心して飲める水道水」をテーマに募集したポスター33枚を展示。

阪神北地域水道協議会 水道週間ポスターに採用

4市1町(伊丹・宝塚・川西・三田市、猪名川町)で構成する阪神北地域水道協議会で共同作成する「第63回水道週間ポスター」に、清水優希さん(昆陽里小)の作品(写真①)が採用されました。同ポスターは、4市1町の学校や公共施設などに掲示します。

伊丹スカイパークの マンホールカードを配布

下水道のマンホールふたは、各自自治体ならではの歴史や文化を伝える貴重な文化遺産です。伊丹市では、マンホールカードを配布



市上下水道局は、水道水のおいしさと安全性を広く知ってもらい、「マイボトル」の利用を促進し、環境に優しいまちづくりへの貢献を目的にマイボトルに水を含める給水スポット(冷水器)写真②)を設置しました。給水スポットの設置場所は、同局1階。利用は無料です。

伊丹市上下水道局経営企画課 ☎783・1600。